

JOY!

Vol.12



神のなされることは皆その時にかなって美しい。
(コヘレトの言葉3章11節 口語訳)



絵：服部野百合

神の世界の美しさ

山下正雄
(ラジオ牧師)



聖書の言葉に「すべてのことを神はご自身の時に適って美しくなさる」(コヘレトの言葉3:11 私訳)とあります。コヘレト(伝道者)は、何事にも定められた時があることを述べた後で、そのように語っています。生まれる時、死ぬ時。植える時、植えたものを抜く時、などなど、あらゆる「時」を取り上げます。

一見すると、自然界には物事固有の時があり、抗うことのできない法則によって、時計仕掛けのように動いている、と言っているようにも聞こえます。しかし、コヘレトが描く世界は、そのような無機質な世界ではありません。生きた神が存在し、今もなお神が関わっておられる世界です。コヘレトが伝えたいことは、「物事固有の時」ではなく、神ご自身が最高の知恵をもって定められた相応しい「時」の問題です。

嬉しい出来事に対しては、「時に適っている」とか「見事だ」という言葉がぴったりのように人間には思えます。しかし、意味の見いだせない悲しい出来事に直面すると、人は困惑するしかありません。自分をあきらめさせるために、そういう運命だったと自分を納得させようとしたりします。

けれども、コヘレト自身が、何がどう時宜に適って美しいのか、「神ご自身の時」を説明できるわけではありません。コヘレトは、神が人間に永遠を思う心をお与えになったことと、それでもなお神のなさる一部始終を見極めることができないことを率直に認めます。しかし、そこには神に対する信頼があります。神の善意を信じ、すべてのことの結末の美しさを確認しています。

刺繍は出来上がってこそ、全体の美しさがわかるものです。作業の途中では、何故糸の色を変えるのか、何故見栄えのしない色を使うのか、全く想像もつきません。まして、その作業を布地の裏から眺めていたのでは、何が起きているのかさえ理解することはできません。この世界に生きるときに大切なのは、神の世界の美しさを信じて生きることです。



ちょっと教えて!



教会ってどんなところ?

十字架のついた建物、ステンドグラスの窓、パイプオルガンの音色、教える会という漢字から聖書について学ぶ場だと思っている人もいるでしょう。教会の元々の意味は「呼び出された者の集まり」。つまりイエス・キリストの名のもとに、二人三人と集まった者の群れのことです。建物の大小や形、人数、人種などに関係なく、イエス・キリストを救い主と信じる人々が集まる場所が教会なのです。



キリスト教のお祈りってどんな感じ?

「祈る」と言っても、キリスト教のお祈りは、人の心の中にある願望が実現するためではなく、自分の心の思いが神さまの心に近づいていきますようにと、「祈り」ます。内容は、神さまに対する賛美や感謝、信仰の告白、罪の告白とごんげ、隣人へのとりなし、祈願など。最後に、「アーメン」と言います。これは、ヘブル語で「確かにそうです」という意味。目を閉じ、手を組むことが多いですがスタイルや場所は問いません。一人でも、複数人でも、祈ることができます。



撮影：高橋ノア



CHRISTIAN
ARTIST NETWORK

スウェーデン刺繍
× 千ヶ崎 承 (横浜教会)

IBUKI-Christian Artist Network

神から命の息吹をいただいたクリスチャンの芸術家ネットワーク (2014年6月発足)

改革派教会とは

プロテスタント教会は、16世紀にヨーロッパで起こった宗教改革運動から生まれました。改革派教会は、「聖書に忠実な教会に立ち返らせよう」としたこの運動の指導者の一人、カルヴァンの伝統を継承しています。改革とは原型に戻すこと、「聖書によって改革された、また改革され続ける」という意味です。日本キリスト改革派教会は、1946年に創立。正統的な教会の一つで、現在、全国に140の教会があり、会員数は1万人程です。

RCJメディア・ミニストリーについて

RCJメディア・ミニストリーは日本キリスト改革派教会大会メディア伝道局の活動の通称。1967年にラジオ番組「あさのことば」を開始し、現在はラジオやインターネットによる放送伝道を中心に、福音(良い知らせ)を届けています。通信講座や季刊紙「JOY!」などの文書やCD、また、集会を開いてリスナーとの直接的な相互の関係を深めた伝道にも励んでいます。HP「ふくいんのなみ」で番組を聴くことができます。



日本キリスト改革派教会

RCJメディア・ミニストリー 主事 山下正雄

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC613

TEL 03-3292-7604 ☑ info@jesus-web.org

